

優秀賞



設計担当者

安田俊也

(株)山下設計、東京建築士会

構造 | 鉄筋コンクリート造、鉄骨造、
鉄骨鉄筋コンクリート造

建築面積 | 2,959.61㎡

延べ面積 | 6,428.79㎡

階数 | 地上5階

竣工年 | 令和3年

敷地面積 | 9,248.28㎡



共同設計者

篠崎亮平

(株)山下設計
東京建築士会

笹岡 歩

(株)山下設計
東京建築士会

劇場、図書館／和歌山県新宮市下本町

新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」



1



2

- 1 新宮城址より見た東側外観。水平方向に分節されたポリウムと、歴史の中で培われてきた地域景観が重なり合う
- 2 速玉大社の参道側景観。街なかには展開する景観要素と呼応する打放し外壁の縦目地
- 3 熊野川側から見た景観。新宮城址の石垣と呼応する地形のような外観



3

選評

新宮市は紀伊半島の南端に近く、古くから熊野信仰の中心都市として栄えた歴史都市である。敷地は中心市街地に近い小学校の跡地で、熊野川に面し、新宮城跡にも近く、周囲は古い民家や小さな商店などが混在していた。この地に図書館とホールおよび地域研究の関連施設を複合するものとして計画された施設である。

現地審査でまず印象に残ったのは外観の穏やかさであった。ホール建築はとするとフライスタワーの巨大なポリウムが周辺を圧倒するものになりがちだが、この建物の外観は各層ごとに水平に分割されたポリウムがセットバックしながら積層していることで、大きな建物であるにもかかわらず巨大な印象がまったくない。また細かいタテリブを付けたコンクリートの外壁や最上部のパンチングメタルによるパラペットの意匠が、歴史的意匠を一切借用していないローコストな手法にもかかわらず、色合いやす

ケール感において周辺の家々の瓦屋根や古い木塀と不思議に調和しているのが見事だった。また、搬入口周辺なども裏に見えぬように丁寧に計画され、設備機器なども外周部には一切置かれていないことにも周辺への配慮の深さを感じられた。

1階のホールは、ひな段状の客席が収納すると厚みのある壁となるようつくられていて、その壁が前後に移動することで1,140人収容の本格的なコンサートホールとしてだけでなく、平土間のホールとしても、外の広場とひとつつながりのオープンスペースとしても使用できるよう細部まで周到に計画されていた。開館して約1年間のコロナ禍にもかかわらず、さまざまな催し物のために53%の使用率を達成したことからしても、多目的ホールの新しい有効な形式を提示できたといえる完成度の高さであった。

最上階にあえて設けられた図書館は外周が

ガラス張りの回廊となっていて、そこに閲覧や休憩コーナー、地域の歴史や地元出身の偉人たちの展示などがあることが特徴だが、何よりそこから周囲の山や河、城跡や家並みを一望できることにより、図書館として単に本に親しむだけでなく、住民が歴史や風土の特質や地域の魅力を居ながらにして理解し、その結果としてふるさとに誇りを持てるような場所をつくりあげていることに大きな意義を感じることができた。

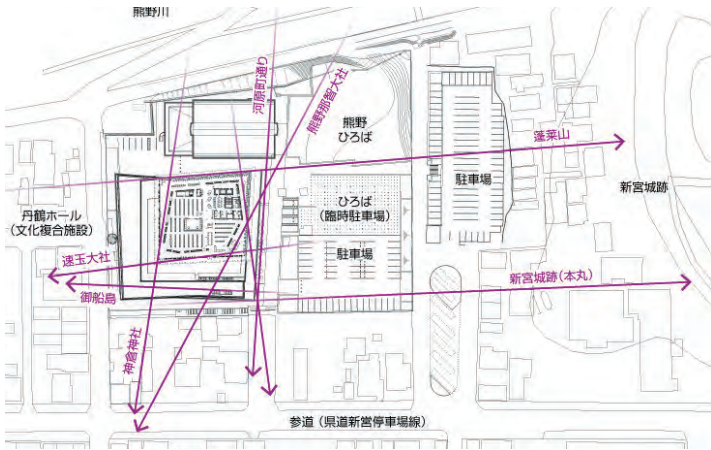
以上、限られた敷地の中、複合する機能を重層せざるを得ないという悪条件を逆手に取り、それぞれの性能が本来の役割以上の意味を持ち、さらに地域の景観に調和するまで計画を昇華させた設計者の姿勢と力量には大きな賞賛を贈りたい。このような施設が市民に愛され続けることで、この地の歴史の継承と地域の再生という目的に貢献することを心から期待するのである。
(横内敏人)



4



5



配置兼5階(図書館)平面図



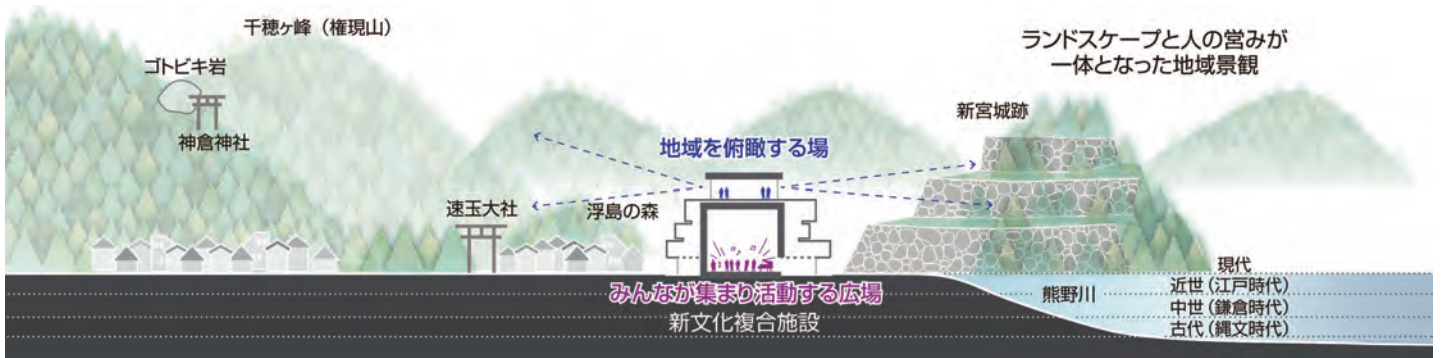
6



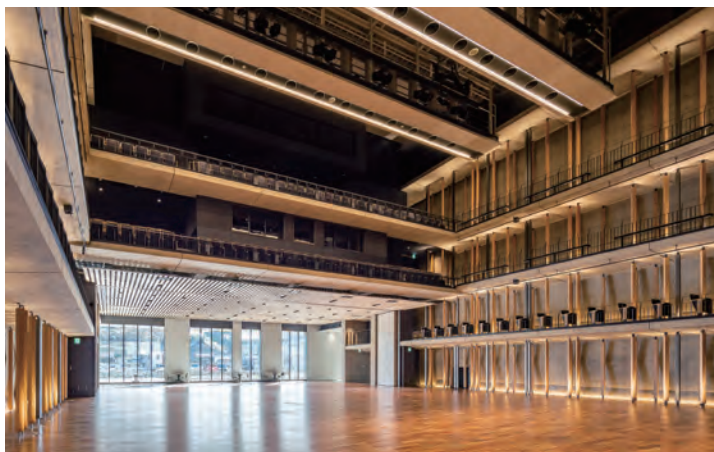
7



8



断面コンセプト図。「地域を俯瞰する場」と「みんなが集まり活動する広場」を積層し、地域の未来を育む新たな公共の場をつくる



9



10



11



12



13

- 4 個性的な地域景観を俯瞰する視点場を持つ、回遊性のある図書館
- 5 新宮城を望む東側閲覧スペース。地域を俯瞰する視点場を持つことで、歴史に思いを馳せ、未来を考える、新たな公共の場が生まれる
- 6 図書館外周部の回遊空間。地域に点在する資産と繋がりすることで生まれる非平行壁によるパースペクティブな広がりさまざまなテーマ展示架が、利用者の動きを誘発し、さまざまな情報との接点を生み出す
- 7 中央と外周部の接続によって生まれるグラデーションな環境
- 8 西側閲覧スペース。深い庇と厚みのある書架で日射を制御

- 9 みんなが集まり活動する広場=高度な演出機能を持つ可変型ホール
- 10 音楽ホール形式
- 11 可動客席ユニットを中央に配置した2分割利用形式
- 12 センターステージ形式
- 13 ホールの可変性や舞台と客席の一体感を生み出すサイドバルコニー席

写真…(株)川澄・小林研二写真事務所